

平成28年度内閣総理大臣賞受賞者受賞理由概要
畜産部門

自家配合飼料工場の活用と飼料用米を利用したブランド卵生産

○氏名又は名称 農事組合法人 会田共同養鶏組合（代表 中島 学）

○所在地 長野県松本市

○出品財 経営（養鶏）

○受賞理由

・地域の概要

松本市は、本州及び長野県のほぼ中央部に位置し、市域の西部には北アルプス、東部には筑摩山麓があり、中央部には「松本平」と呼ばれる平坦な盆地が広がっている。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

会田共同養鶏組合は、昭和38年に設立された。現在の飼育羽数は約21万羽であり、そのうち約5万6千羽を平飼いで飼育している。農場で使用する飼料は、組合が所有する飼料工場で製造しており、飼料用米を積極的に利用している。

・受賞者の特色

（1）配合飼料工場の設置及び飼料用米の利活用

会田共同養鶏組合は、昭和51年に建設した飼料工場を用いて自農場で使用する飼料を製造している。また、平成20年から産卵鶏に対する飼料用米の給与試験を開始し、飼料用米を給与して生産した鶏卵の需要増加に伴って組合の飼料用米倉庫、飼料用米専用の貯蔵タンクを設置し、年間約1,700トンの飼料用米を使用している。さらに、非遺伝子組換え及びポスト・ハーベスト・フリー飼料を用いた飼育も行っている。

（2）アニマルウェルフェア（快適性に配慮した家畜の飼養管理）を目指した平飼い飼育及び衛生管理の徹底

アニマルウェルフェアの向上のため、全体の約3割を平飼いで飼育し、生産された鶏卵を独自ブランド化している。さらに、平成24年に農場HACCP認証農場となり、サルモネラ対策を中心に衛生管理の徹底と質の向上・維持を図っている。

（3）6次産業化

敷地内に鶏肉加工場を設置して、自農場の産卵鶏を用いた鶏肉加工品の生産を行うとともに、アンテナショップと位置付ける直販所において自農場の鶏卵や鶏肉加工品の販売を行い、各種情報の生産へのフィードバックに努めている。

（4）女性の活躍

理事会を構成する役員4名のうち半数が女性である。また、全従業員に占める女性比率は45%（パート従業員含む）であり、様々な部署の責任者を担っている等、女性の活躍・登用に前向きな経営を展開している。

・普及性と今後の発展方向

鶏舎の建替えと平飼い飼育の規模拡大、耕畜連携による飼料用米のさらなる利活用による水田事業の活性化と食料需給率の向上など、消費地に近い生産者という利点を活かした安全で高品質な鶏卵生産を目指している。